

市民委員会資料①

1 議案の審査

- (2) 議案第 19 号 川崎市小杉こども文化センター条例の一部を改正する条例の制定について

2 請願の審査

- (1) 請願第 18 号 小杉こども文化センターの代替地・代替機能となる場所等の速やかな実現を求める請願

資料 1 請願第 18 号 小杉こども文化センターの代替地・代替機能となる場所等の速やかな実現を求める請願について

市民・こども局こども本部

(平成 28 年 3 月 14 日)

請願第18号

小杉こども文化センターの代替地・代替機能となる場所等の速やかな実現を求める請願 について

1 小杉こども文化センターの概要

住 所：中原区小杉町3-4-17 (JR 武蔵小杉駅徒歩2分)
敷 地：292.42㎡ 延べ床：484.7㎡
建 物：鉄筋コンクリート造3階建て 竣 工：昭和52年5月(築38年)
運 営：公設民営 指定管理者：公益財団法人かわさき市民活動センター
施 設：学習室・遊戯室・集会室・図書室・事務室
来館者数：延べ38,992名(平成26年度実績)

2 小杉町3丁目東地区再開発事業について

- 小杉町3丁目東地区：「都市計画マスタープラン小杉駅周辺まちづくり推進地域構想」
⇒「複合的利用ゾーン」として位置付け
小杉こども文化センターは、事業目的に沿った公共施設として再開発ビルに入ることが決定【平成24年度】
- 再開発スケジュール
小杉こども文化センター除却予定：平成28年8月以降
再開発事業建築工事期間(予定)：平成28年度～31年度

3 小杉こども文化センターの目指す方向性

- 中高生にとって魅力ある機能・中高生の活動拠点
- 人口増加に伴い幅広い世代に利用増が見込まれる⇒多機能な施設の整備及び市民活動等の支援の場
⇒ 小杉の拠点特性を活かし、中高生を中心とした幅広い世代の利用が可能な施設として、小杉町3丁目東地区にこども文化センターを整備する。

参考：小杉こども文化センター利用状況 平成26年度利用統計

- 小学生の居場所：小学生の利用率は市内の全こども文化センター59館中59位
- 中高生の居場所：中学生の利用率は59館中42位、高校生は3位と高校生の利用率が高い
- 子育て支援：乳幼児の利用率は13位と比較的高い
- 地域における市民活動拠点：成人の利用率は2位と非常に高い。

年齢層	小杉こども文化センター		全 市	
	利用者数 (59館中順位)	利用率 (59館中順位)	利用者数	利用率
乳幼児	8,518人 24/日 (7)	21.8% (13)	311,715人 15/日	16.4%
小学生	8,476人 23/日 (51)	21.7% (59)	802,431人 38/日	42.3%
中学生	3,878人 11/日 (29)	9.9% (42)	238,526人 11/日	12.6%
高校生	3,505人 10/日 (3)	9.0% (3)	58,138人 3/日	3.1%
成人	14,603人 40/日 (2)	37.5% (2)	462,404人 22/日	24.4%
館外活動	12人 (59)	0.1% (59)	22,036人	1.2%
合計	38,992人 109/日 (14)		1,895,250人 90/日	

(注)「成人」の利用者の内訳について

- ・乳幼児の保護者：乳幼児とほぼ同数 約8,000人
- ・ボランティア学習グループ：30人×週2回×52週=約3,000人
- ・青少年団体、地域団体、市民活動グループ等：約3,600人

★ 代替的機能の方向性 ★

現小杉こども文化センターは、中高生の利用が多いことや、再開発事業に入る新小杉こども文化センターが、小杉の拠点特性を活かした、中高生を中心とした幅広い世代の利用が可能な施設を目指す方向性であることから、「子どもの居場所」や「子育て支援」の代替的機能を次のように確保していく。

代替的機能の実施にあたっては、再開発エリアへの建設を検討している仮設施設の一部について、使用できる方向性が確認できているため、代替的機能の内容について検討していく。

仮設建物ができるまでの間の代替的機能については、公共施設の有効活用について関係局等と積極的に調整していく。